

東日本大震災に対する支援協力の御礼と今後の対応

会長 青柳 英俊

東日本大震災では、未曾有の災害が発生し、千葉県内でも地震、津波、地盤の液状化による災害で大きな被害を受けました。被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

会員の皆様には、被害を受けた地元支部はもとより近隣支部への協力要請に対し、延べ250名の方々が、建築物応急危険度判定、被災住宅調査、及び相談等にご協力頂きました。

ここに深く感謝申し上げます。

今後、千葉県、各市町村から被災住宅相談等への協力依頼が考えられます。さらには建築士会連合会、関東甲信越ブロック会から被災県への協力要請が予測されます。日程期間、派遣先、要請人数等は決まっていますが、要請がありましたら速やかに対処する必要があります。その際は改めて連絡いたしますので引き続きのご協力をお願い申し上げます。

連合会・関東甲信越ブロック会長会議 報告（3月18日開催）

被災県士会への見舞金

1. 各ブロック毎に金額を定め、連合会を通じ被災県に配分。
2. 関ブロは、被災県茨城を除く9県が各10万円、防災積立より210万円負担し計300万円。

被災者への義捐金

1. 各単県士会毎に実施の有無を含め対応、連合会では行わない。

全国大会等

1. 23年度 全国大会 大阪大会は、中止決定
(尚、23年中に大阪での鎮魂イベントを企画、開催希望あり)
2. 表彰者は、各県に推薦依頼済みなので、各県士会の総会等での表彰を検討中。
3. 24年度 茨城大会は会場が被災しているので、後日検討
4. 全建女 京都大会は予定通り開催。

関ブロ関係

1. 関ブロ 会長会・理事会は日程通り開催
2. 青年 長野大会は内容を検討するが開催の方向で準備する。
今後、被災県より『広域住宅相談等』の要請もあるので、対応を検討願いたい。